

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
I 圏域内の中心都市と近隣の市町とのつながりを生かし、一人ひとりが快適で安全・安心に暮らせる地域			
1 生きがいに満ち、健康で安心して生活し続けることができる絆の強い地域社会をつくります			
④安心して子どもを産み育てられる環境づくりの推進 (自然減対策)	○改正児童福祉法により、令和6年4月までに、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うこども家庭センターの設置が市町の努力義務とされた。 管内では、子育て世代包括支援センター(母子保健)は全市町に設置されているが、子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)の設置は一部の市町に限られており、母子保健と児童福祉担当の連携、協力等市町における体制整備に対する支援が必要。	1 「こども家庭センター」市町設置促進(保健福祉環境部) 振興局が開催している「子育て支援担当者連絡会議」を通じた「こども家庭センター」の事業や組織体制についての情報交換、相談、助言の実施	
2 (1) 豊かな環境が保全され、自然の恵みを将来にわたって享受できる地域社会をつくります(環境保全等)			
①多様で豊かな環境の保全・保護の推進	○これまで、クマの住处との境界である里を中心に電気柵の設置等予防策を進めてきたが、近年、里を通らず、市街地に突如出没する案件が発生している。 盛岡市周辺は河川が市中を流れており、市街地にツキノワグマが突如出没する可能性が高い地域であるが、市街地への侵入経路や遭遇時の対策等、ツキノワグマの生態等に関する理解が広がっているとは言いがたく、正確かつ効果的な普及啓発が必要。 ※ 管内の人身被害：14件(16名)(前年度：6件(6名)) 【令和5年度は10月末時点】	1 市街地におけるツキノワグマによる人身被害防止【地域経営推進費】(保健福祉環境部) ・ 市街地に居住する県民を対象とした、ツキノワグマの生態や遭遇した際の対応等を学ぶ勉強会の開催 ・ クマの出没防止のため、出没防止効果が高い地区を選定し、対象地区住民を対象とした勉強会及び刈払いを実施【新規】 ・ クマ防除対策の啓発のため、出没地区を学区とする小学生等にクマ鈴を貸与し、クマ鈴着用定着を促進【新規】	
③動物愛護思想の普及と適正飼育の推進	○猫の多頭飼育事例が発生しているが解決に向けたノウハウが乏しく、特に高齢者や生活困窮者が関係する事例対応において、関係者の連携が一層必要。 ○多頭飼育者から引き取った猫の譲渡促進のため、健康管理の向上が必要。	2 人と動物の共生推進【地域経営推進費】(保健福祉環境部) ・ 多頭飼育問題の背景にある課題や対策及び適切な飼養方法を含めた動物との関わり合いについての知見を深め、地域課題解決のためのスキル向上を図るための、社会福祉と動物愛護を考える研修会の開催 ・ 犬や猫の多頭飼育問題等のうち経済的困窮や社会的孤立等の問題が絡んでいる事例について、関係機関が協働で対応するための仕組みづくりを進めるための、社会福祉部署と動物愛護関係機関の連絡会議の開催 ・ 保護猫の譲渡促進のための疾病検査キット、ワクチン及び医薬品の配備等【新規】	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
3 歴史と文化を継承しながら、新たなつながりや活力を感じられる地域づくりを進めます			
①広域連携による持続可能なまちづくり (GX)	○盛岡広域圏の一体的な発展を目指し、盛岡広域連携都市圏ビジョンの取組が行われており、取組の促進を図るため、事務局の盛岡市への助言等支援が必要。 ○岩手町において、SDGsをテーマとしたさいたま市との連携の取組が進められており、取組の促進等について支援が必要。	1 広域連携、SDGs首都圏連携推進【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 盛岡広域連携都市圏ビジョンに係る各種会議への参画など、市町による広域連携の取組を支援 ・ 岩手町とさいたま市との連携の促進に向けた助言、当該連携を管内他市町へ波及させる調整等を実施	
②関係人口の拡大と移住・定住の促進 (社会減対策)	○地域おこし協力隊をはじめとした移住者の定着支援や移住者の受入れに向けた地域の受入れ環境の整備が必要。 ○全国の自治体との激しい売込み競争の中、移住希望者をはじめ県外在住者に的確に情報を提供することが難しい状況。 全国各地から大量に発信される移住関連情報の中で、盛岡広域の特色や魅力に触れ、移住候補地として認識してもらうことが必要。	2 圏域一体による移住定住の推進【広域振興事業】【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 移住者の定着を支援するネットワークを形成するため、移住者のほか、地元の地域コミュニティ団体や産業関係者等を対象に、移住者等交流会を実施 ・ 移住者の受入れに向けた地域の機運醸成を図るため、地域住民を対象とした研修会や市町の担当者会議等を実施 ・ 盛岡エリアへの関心を高めるため、地方暮らしに興味がある方に対して、定期的な暮らしの魅力発信やオンライン活用等による柔軟な個別相談等を実施 3 地元縁者を介したUターンの促進【地域経営推進費】(経営企画部) ・ R5に実施した北部3市町住民等への意向アンケートにより特定された県外在住の移住希望者への移住支援策等の情報提供・個別支援等の実施 ・ 関係3市町(八幡平市、葛巻町、岩手町)との連携による施策の企画実施(内容調整中)	
③持続可能な地域コミュニティづくりと活動を支える人材の育成(社会減対策)	○地域コミュニティの機能低下や担い手不足が大きな課題となっており、持続可能な地域づくりと地域活動を支える人材の育成の取組が必要。 ○圏域内に複数の大学が立地している利点を生かし、大学等と連携して学生等を活用した取組を地域へ波及させる仕掛け・仕組みづくり等が必要。 ○ハロースクールの開校やニューヨーク・タイムズ紙に盛岡が掲載されたこと等を契機に、今後さらに外国人との交流等が進むことが予想されることから、多文化共生の地域づくりに係る取組が必要。	4 地域コミュニティ施策の強化支援【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 持続可能な地域づくりと地域活動を支える人材の育成のため、市町の担当者やコミュニティ団体を対象とした意見交換会や研修会を開催 ・ 管内市町等に対して、持続可能な地域コミュニティづくりに向けた国の動向や先進事例等の情報提供を実施 5 管内大学等と連携した地域づくり【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 学生の力を地域づくりに生かすため、県立大学と連携した地域活性化の取組を実施 ・ 大学生等による地域活動の促進に向けた仕掛けや仕組みの検討【新規】 6 多文化共生理解の普及啓発【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 多文化共生出前授業等の実施、ILC解説普及員等によるILC出前授業の実施	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
④歴史や文化など地域の特色を活用した地域の活性化の促進	○圏域には大学や各種専門学校、企業等が集積しており、多様な主体の参画により、歴史や文化などを生かした産業振興や地域活性化の取組の展開が必要。	<b>7 文化芸術コーディネーターとの連携により、市町等における地域活性化等の取組を支援（経営企画部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術コーディネーターの市町等への派遣を通じて、文化芸術の創造性を生かした事業の企画検討の支援やアーティストと地域が交流する機会等を提供</li> </ul> 〔R 5 取組例〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ意見交換会の講師として起用 事例紹介「文化を活用した地域コミュニティの活性化について」</li> <li>歴史的建造物・日詰平井邸(紫波町)とのマッチング いわてアーツライブ2023「ひづめ百年文化祭」開催 (文化庁文化芸術振興費補助金活用事業)</li> </ul>	
<b>4 過去の教訓を踏まえた防災対策を進めます</b>			
①河川改修や砂防施設による防災安全度の向上 (安全・安心)	○豪雨に伴う災害が激甚化、頻発化しており、洪水・土砂災害による被害を軽減するため早期の防災施設整備が必要。	<b>1 河川改修による治水安全度の向上（土木部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>木賊川（盛岡市・滝沢市）：遊水地工事</li> <li>北上川・松川（盛岡市）：河川改修</li> <li>北上川（岩手町）：河川改修に伴う田頭橋架替に係る橋梁前後の道路改良</li> <li>太田川（紫波町・矢巾町）：早期工事着手に向け関係者との調整、特定都市河川の指定について検討</li> </ul> <b>2 砂防施設や急傾斜地崩壊対策施設の整備推進（土木部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>砂防：外水沢地区（八幡平市）：砂防堰堤本体工事</li> <li>高森の沢地区（滝沢市）：工事用道路完成、基礎処理工推進</li> <li>上鶉飼の沢地区（滝沢市）：工事用道路完成、堤体工推進</li> <li>白山の沢地区（滝沢市）：環境等各種調査、用地取得等推進</li> <li>山岸地区（盛岡市）、桜山地区（盛岡市）：急傾斜地法面对策工事</li> <li>安倍館地区（盛岡市）：急傾斜地新規事業化に向けた関係者との調整</li> </ul>	
②地震に強い社会資本の整備 (安全・安心)	○地震災害発生後も確実な通行経路となる緊急輸送道路における橋梁の耐震化が必要。	<b>3 橋梁耐震化の整備推進（土木部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>盛岡横手線夕顔瀬橋（盛岡市）：耐震補強工事着手</li> </ul>	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
5 安心・快適な都市環境・生活環境をつくれます			
①高次都市機能の充実	県内の交通渋滞67か所のうち51か所が県央圏域に存在。 ○盛南地域から盛岡市中心部への交通交雑の緩和が必要。(杜の大橋) ○岩手医科大学付属病院移転開院に伴い北上川を挟んだ東側、西側とのアクセス道路の交通混雑解消が必要。(徳田橋)	1 市街地の円滑な交通の確保(土木部) ・ 盛岡駅本宮線(杜の大橋:盛岡市):橋梁上部工推進 ・ 大ケ生徳田線(徳田橋:盛岡市・矢巾町):旧橋撤去 2 岩手医科大学附属病院へのアクセス向上(土木部) ・ 大ケ生徳田線(徳田橋:盛岡市・矢巾町):市町要望を踏まえながら、事業化可能性を検討	
③安全・安心な歩行空間及び自転車通行空間の確保	○登下校中に児童生徒が事故に巻き込まれる事案が後を絶たず、早急な対策が必要。	3 歩道整備等による通行空間の確保(土木部) ・ 市町要望を踏まえながら、通学路指定交通安全プログラム箇所を優先し新規事業化箇所を調査検討 ・ 古館停車場線 中島(紫波町):歩道整備工事推進 ・ 上米内湯沢線 浅岸(盛岡市):用地補償推進 ・ 渋民田頭線 五百森(八幡平市):歩道整備推進 4 自転車通行空間整備の確保(土木部) ・ 氏子橋夕顔瀬線ほか(盛岡市):矢羽根等工事推進(盛岡市自転車ネットワーク計画に基づく整備)	
⑥建設業における担い手の確保・労働環境の整備(社会減対策)	○公共施設整備、既存施設の適時・的確な維持管理、災害対応時の迅速かつ円滑な対応には、建設企業で働く技術者・技能労働者の継続的な入職・定着が必要。 ○県内建設業では、就業者が減少しているとともに、高齢化が進行しており、また、女性の割合は他産業と比べて低い状況。若者・女性の入職促進や、若者や女性から見ても魅力ある職場環境づくりを進めるとともに、建設業のより一層のイメージアップ等が必要。	5 建設業への就労意識の形成・向上【地域経営推進費】(土木部、関係部:経営企画部) ・ 管内中学生及び保護者を対象とした建設現場見学と体験学習 ・ 女性入職希望者と女性技術者の意見交換会 ・ 管内建設系大学(岩手大学及び産業技術短期大学)の学生を対象とした出前授業 ・ 管内高校への建設業情報発信	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
6 産学官金連携による I T 産業の育成やものづくり産業の振興に取り組みます			
①地域産業を支える人材の確保・育成、起業・創業の推進(社会減対策)	I T 関連企業の人手不足が継続しているとともに、理工・情報系学部学生の約 8 割が県外へ就職している。 ○ I T 人材育成・確保に向けた取組が必要。 ○新たな I T 分野の需要への対応が必要。 ○若年層が I T 技術に興味を持ち、県内 I T 企業への就業や起業・創業を促進する取組が必要。 ○就職活動において、理工・情報系学部学生がどのような観点で企業を選ぶか、県内 I T 企業が把握できるよう支援が必要。	1 I T 人材の育成・確保、県内 I T 企業への就職、起業・創業の推進【広域振興事業】【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 学生の県内就職に向けて、大学と連携した I T 企業のマッチングガイダンスの開催(県立大学、岩手大学、産業技術短期大学校)【拡充】 ・ 管内高校生等の県内就職に向けて、管内市町と連携した工場見学、出前授業の実施 ・ 産学官連携による I T 人材の育成を目的とした学生デジタルアイデアコンテストの開催 ・ I T 人材を求める企業におけるインターンシップ受入れ環境整備の支援 ・ I T 人材を求める企業の採用活動の強化に向けて、県立大学と連携した情報系学部生の就職動向等を伝えるセミナーの開催【新規】	
② I T ・ものづくり産業の幅広い産業分野への参入促進(D X)	○企業のデジタル化・D X の促進、I T 企業の取引拡大、技術力の向上を図る取組が必要。 ○ I T 産業と多様な産業との連携に向けた支援が必要。	2 多様な産業分野への I T 企業の参入促進【広域振興事業】【地域経営推進費】(経営企画部) ・ I T 連携コーディネーターを配置し、企業のデジタル化と I T 企業の取引拡大を目的とした企業間マッチングを促進 ・ 県南局との連携によるものづくり企業と I T 企業のマッチング交流会の開催 ・ I T ・ヘルスケア関連企業などの展示会等への出展支援	

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
7 (1) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(観光産業)			
①魅力ある観光地域づくりと観光客受入環境の向上	<p>○酒造会社が集積する地域特性を生かした酒蔵ツーリズムの推進など、「食」を目的とした観光客の誘客に向けた地域の食の魅力や食文化の発信が必要。</p> <p>○宿泊施設の業績回復に向けて、引き続き宿泊施設の経営課題等の解決に向けた取組への支援が必要。</p> <p>○マイクロツーリズムの定着の動きを見据えて、秋田県を含めた隣接する圏域と連携した情報発信による周遊観光の推進が必要。</p> <p>○ニューヨーク・タイムズ紙掲載に伴う効果が管内で享受できるよう、地域資源を生かした管内周遊を促進する取組が必要。</p> <p>○盛岡エリアのSDGs・探究学習プログラムのブラッシュアップや活用事例の情報発信が必要。</p> <p>○県内学校の教育旅行先がコロナ前への回帰が見込まれ、他圏域と連携し、宿泊学習でのプログラム活用に向けて情報発信が必要。</p>	<p>1 酒蔵ツーリズムの推進【広域振興事業】【地域経営推進費】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内の酒蔵を中心とした、蔵元と消費者の交流イベント「いわて酒ノ宴2024」の開催</li> <li>旅行代理店(クラブツーリズム)と連携した酒蔵めぐりツアーの造成、酒蔵文化やイベントなどの情報発信</li> </ul> <p>2 宿泊施設業績回復支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人手不足対策等経営改善をテーマとしたセミナーの開催</li> </ul> <p>3 秋田県との県際連携による誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仙北地域との連携による周遊スタンプラリーの実施</li> <li>鹿角地域との連携による周遊デジタルスタンプラリーの実施</li> </ul> <p>4 国内教育旅行の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでに造成したSDGs体験プログラム(小岩井農場の循環型社会への取組等)の受入態勢充実(ガイド養成等)に向けた助言指導</li> <li>令和5年度に当局が作成した探究学習ノートを活用した学校へのヒアリングを踏まえたノートのブラッシュアップ</li> <li>教育旅行説明会への参加(主要市場である北海道・東京会場において、旅行会社や主に中学校の担当教諭と商談)</li> </ul>	
②効果的な情報発信による誘客の促進	<p>○局公式X閲覧数の推移から、盛岡に対する反応が大きくなっており、SNSによる細やかな情報発信が必要。</p> <p>○県外のイベントを活用したおもてなし活動や観光PRが必要。</p>	<p>5 観光情報の発信【地域経営推進費】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>局公式Xによる観光情報の発信</li> <li>各種観光イベントでのPR及び観光案内所等への広域観光パンフレット配布</li> </ul>	
③国際観光の推進	<p>○雫石町をモデル地区に実施した、台湾の訪日教育旅行モニターツアーの成果を、県央圏域に波及する取組が必要。</p> <p>○圏域内での周遊観光を促進し、経済効果を高める取組が必要。</p>	<p>6 国際観光及び訪日教育旅行の推進【広域振興事業】(経営企画部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>台湾からの訪日教育旅行受入校拡充のための高校間オンライン交流の支援</li> <li>八幡平エリアにおける観光庁の「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業との連携</li> </ul>	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
7 (2) 観光・食・スポーツを連携させた交流促進により地域経済を活性化します(食産業・工芸品産業)			
①食品・工芸品製造事業者の事業再構築と人材の育成	○利益構造の改善による経営の安定化を図るため、事業者の事業再構築やD X推進への取組、それを担う人材育成の支援が必要。	1 食品製造事業者支援【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 小規模市町の食産業の支援を行うコーディネーターの委嘱【新規】 ・ 「翹屋もとみや」をはじめとした県内成功事例の紹介等、食産業の事業再構築・経営革新セミナーの開催【新規】	
②商品の高付加価値化及び販路拡大の促進	○SDG sに根差した地場産品の価値や魅力を発信するための支援が必要。 ○管内事業者の販路拡大や売上向上につなげるため、事業者ニーズの高い県外バイヤーとの商談機会を創出等が必要。	2 工芸品製造事業者支援【広域振興事業】(経営企画部) ・ 管内工芸品の販路拡大・売上向上に向けた、県内外のバイヤーを招聘した工芸展示商談会、工房見学会の開催	
③観光等と連携した食産業・工芸品産業の振興	○観光客の集客と特産品の販売回復に向け隣接県での観光プロモーションが必要。	3 観光・物産イベントの開催【地域経営推進費】(経営企画部) ・ J R仙台駅構内の出展スペースを利用した小規模市町の観光・物産展の開催	
④スポーツツーリズムの推進	○岩手県自転車活用推進計画の推進に向けて、広域サイクルルート造成の取組(県土整備部道路環境課所管)の動向を踏まえながら、圏域サイクルルート(地域ルート)の魅力向上等の取組が必要。	4 サイクルツーリズムの推進【地域経営推進費】(経営企画部) ・ 本庁・局及び市町における自転車に関連する取組状況等の情報交換や一体的な自転車活用の取組を促進するため、サイクルツーリズム会議を開催 ・ 市町イベントと連携したモデルルート試走会の実施等によるサイクルツーリズムの普及啓発	
8 米・園芸・畜産のバランスがとれた農業の持続的発展と活力のある農村づくりを進めます			
①次世代の地域農業を担う経営体の育成(社会減対策)	○農業経営者はコロナ禍により優良な法人経営を参考にする機会が少なくなっており、法人経営のノウハウを改めて学ぶ機会の提供が必要。 ○後継者への経営移譲時の法人化と法人雇用環境の整備による人材の確保・定着が必要。 ○将来の担い手の確保に向けて、小中学生の憧れ形成期から興味関心の機会提供や農業体験等を通じた就業の動機づけが必要。 ○盛岡地方への就農者を増やすため、就農相談会や受入体制の充実、P R等が必要。 ○就農相談を充実させるため、関係機関担当者の相談スキルの向上が必要。	1 経営発展を目指す農業経営体の育成(農政部) ・ 優良経営事例セミナーの開催 ・ 法人化や雇用環境整備に向けた研修会の開催 2 小中学生を対象としたスマート農業体験【地域経営推進費】(農政部) ・ スマート農業学習会の開催 ・ 地域農業学習会(出前授業)の開催【新規】 3 農業人材の確保対策の推進【地域経営推進費】(農政部)【新規】 ・ 盛岡地方への就農希望者を対象とした新規就農相談会の開催 ・ 就農相談に対応する関係機関職員を対象とした就農相談スキル向上研修会の開催 ・ 全国規模の就農相談会への盛岡地方農業農村振興協議会等のブース出展による就農相談活動の実施 ・ 農業総合情報サイト等を活用した盛岡地方の農業情報の全国発信	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
② 生産性・市場性の高い安全・安心な産地づくり(DX)(GX)	<p>【DX】(水稻)</p> <p>○水稻栽培の労働時間の7割を水管理が占めており、大規模稲作経営体における水田の自動給水・止水システム等の導入により、水管理の負担軽減、適切な水管理による品質向上を図ることが必要。</p> <p>(畜産)</p> <p>○畜産経営における収益向上に欠かせない分娩作業について、分娩検知・通知システムの導入(検証)により、分娩監視作業の省力化と分娩事故防止が必要。</p> <p>○公共牧場における高齢化や労働力不足に対応した遠隔監視システムの導入等、監視作業の一層の省力化が必要。</p> <p>(施設園芸)</p> <p>○作業を省力化しつつ、ハウス内を理想的な栽培環境に制御する低コストな環境制御装置の導入による施設野菜の生産性向上が必要。</p> <p>(花き)</p> <p>○労働時間の多くを占める、切花りんどうの選別調製作業の省力化が必要。</p> <p>【GX】(野菜)</p> <p>○地域内堆肥の有効活用(ペレット化)により、資材高騰への対応や化学肥料の低減が必要。</p> <p>【その他】(畜産)</p> <p>○子牛飼養管理技術の向上や雌牛の遺伝能力を評価するゲノミック選別技術を活用し、黒毛和種産地としての評価向上を図ることが必要。</p>	<p>4 水稻におけるスマート農業技術の普及促進【広域振興事業】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模経営体において、自動水管理システム導入による省力効果を実証</li> <li>稲作経営体を対象とした自動水管理システムの早期普及推進</li> </ul> <p>5 畜産分野における先端技術の普及推進【広域振興事業】【地域経営推進費】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大規模個人経営体において分娩検知システム「牛わか」による分娩監視にかかる省力効果を検証【一部新規】</li> <li>公共牧場における放牧監視システム「うしみる」の実証</li> </ul> <p>6 施設園芸における環境制御技術の普及推進【地域経営推進費】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CO2発生装置、ミスト装置等の低コスト環境制御技術の普及【一部新規】</li> <li>環境制御技術に関心を持つ農業者等で構成される盛岡地域環境制御研究会の活動支援</li> </ul> <p>7 切花りんどう出荷調製作業省力化技術実証【地域経営推進費】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動選別機の実用機を活用した出荷体制の確立【一部新規】</li> <li>自動選別機の選別処理能力向上に向けた実証</li> <li>普及推進に向けた生産者研修会等の開催</li> </ul> <p>8 野菜農家における化学肥料代替技術実証(耕畜連携)【地域経営推進費】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩手町の地元企業産堆肥(鶏糞)のペレット化とペレットを活用した指定混合肥料の試作・栽培検証</li> <li>有機・化学肥料の種類や混合割合に応じた混合散布機械の実用検証</li> <li>飼料作物等園芸品目以外での栽培実証による指定混合肥料の実用性の検証</li> </ul> <p>9 ゲノミック評価※を活用した黒毛和種優良雌牛群の整備【地域経営推進費】(農政部)【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雌子牛のゲノミック評価の実施による優良母牛候補の選抜</li> <li>和牛繁殖経営体を対象とした飼養管理技術向上のための研修会の開催</li> </ul> <p>※ゲノミック評価： 牛から採取したDNAにより遺伝子情報を解析し、個体の遺伝的特性を評価する技術。従来の育種価よりも正確度が高く、生後間もない段階で能力が推定できるため、迅速な家畜改良に有効な技術。</p>	
③ 魅力ある農村づくりの推進	○移住定住に繋がる市町等と連携した効果的なPR、情報発信の継続が必要。	<p>10 田園回帰支援【地域経営推進費】(農政部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雫石町主催の移住体験交流ツアーの開催支援(農業収穫体験等)</li> <li>ラベンダー試験ほ場を活用した南畑コテージむら体験農園利用者等を対象とした体験イベントの試行</li> <li>ラベンダー試験ほ場等の拡大、ひまわり等の栽培試験等の実施</li> </ul>	



## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
9 森林資源の循環利用促進ともうかる林業・木材産業の構築を進めます			
①森林資源の循環利用及び担い手の育成・確保 (社会減対策) (GX)(DX)	<p>○計画的な主伐、造林、間伐を進めるため、意欲と能力のある林業経営体及び森林施業の団地化・集約化の促進を担う森林施業プランナーの活動支援が必要。</p> <p>○伐採作業時のヒューマンエラーによる労働災害や死亡事故を防止するため、安全対策が必要。</p> <p>○県央圏域の林業従事者数は横ばい、60歳以上の割合も高止まりしていることから、若年労働者の雇用促進が必要。</p> <p>○森林の有する木材生産機能、水源涵養機能および地球温暖化防止機能等の多面的な機能を発揮させるため、森林整備を計画的に進めることが必要。</p> <p>○森林の伐採が進んでいることから、林業の低コスト化を図りながら伐採跡地への再造林を進めることが必要。</p> <p>○紫波町、矢巾町、盛岡市及び滝沢市は「松くい虫被害地域」となっており、未被害地域への被害拡大の防止が必要。</p> <p>○ナラ枯れ被害は、県央圏域の近隣市町村に発生してきており、未被害地域である県央圏域での侵入を警戒、予防策を講じる必要。</p> <p>○豪雨等による被害が頻発する中、自然災害等に強い山村づくりに向け、治山施設の着実な整備と市町や地域住民と連携した防災・減災の取組が必要。</p>	<p>1 森林経営計画作成を担う人材の育成(林務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域森林経営の主体となる経営体、森林施業プランナーの育成</li> <li>・ 森林所有者に対する森林経営計画作成の働きかけ</li> <li>・ 市町における森林経営管理制度の業務支援</li> <li>・ スマート林業の導入を促進するための事業体・市町向け研修会の開催</li> </ul> <p>2 専門家派遣による林業経営体の能力向上等の支援(林務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林業従事者の伐採作業時の安全な伐倒技術の向上や安全意識の向上支援</li> </ul> <p>3 林業の担い手確保対策の促進【地域経営推進費】(林務部、関係部：保健福祉環境部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規林業従事者の確保・定着を目的とした盛岡地区安全伐倒競技会(簡易伐倒・合せ切り)及び交流会の開催</li> <li>・ 林福連携を促す情報誌「林福連携イーハトーブ通信」の発行による就労支援PR(紙面＋ホームページ)</li> <li>・ 障がい者・生活困窮者の就労支援を目的とした勉強会・トライアル(お試し)雇用の実施</li> <li>・ 岩手県林業事業主改善計画認定制度を活用し、事業体の就労条件の改善を促進</li> </ul> <p>4 森林資源の循環利用(林務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間伐や再造林を促進</li> <li>・ 伐採と造林の一貫作業システムの普及やコンテナ苗による植栽等低コスト造林を促進</li> </ul> <p>5 松くい虫・ナラ枯れ被害の防止対策の推進(林務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被害木の早期発見、被害材の材片調査等の実施、監視体制の強化</li> <li>・ 被害木の駆除の徹底、樹種転換や被害木の利用促進</li> <li>・ 枯死木を含むアカマツ林の伐倒・集積、広葉樹林化を促進</li> <li>・ 高齢なナラ林の伐採・更新、被害を受けにくい林分への若返りを促進</li> </ul> <p>6 自然災害に強い山村づくり(林務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 治山施設の設置や、治山施設の周辺等での森林整備を推進</li> <li>・ 山地災害危険地区に追加指定した箇所の情報提供等、市町や地域住民と連携した総合的な防災対策の推進</li> </ul>	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
②地域材の利用促進（GX）	○大型製材工場が稼働しているほか、近隣地域での合板工場や木質バイオマス発電所の稼働により、大口需要者に対し地域材を安定供給する体制が必要。 ○公共施設のほか、住宅や店舗において、地域産材の活用が増えてきているが、より幅広い分野において木材の利用拡大が必要。	7 林内路網整備の推進、高性能林業機械の導入支援（林務部） 8 加工能力の高い木材加工施設の整備支援（林務部） 9 民間における県産木材利用拡大促進【地域経営推進費】（林務部） ・ 行政、製材所、工務店等による地域材利用に向けた情報交換 ・ 地域材利用に関する講演や施設の見学 ・ 木の日（10月8日）のイベントでの地域材の普及啓発	
③原木しいたけ産地の再生	○原発事故の影響を受け、全国的な原木不足による原木価格の高騰、生産者の減少及び高齢化等により生産量は減少傾向にあり、原木の安定確保、経営の安定化により収益の確保を図ることが必要。	10 しいたけ原木の確保支援【地域経営推進費】（林務部） ・ 傷あり原木の収量調査、傷が着きにくい作業方法（機械の接触回数を減らす等）の検証 ・ 県内で伐採した原木を管内に供給する原木コネクターの原木増産を支援 11 原木しいたけの販路拡大に向けた取組【地域経営推進費】（林務部） ・ 地域イベント及び首都圏店舗での対面試食販売等支援 ・ 飲食店・流通関係者等、新たな販路開拓に向けた取組支援	
10 地域産業の特性に応じた産業人材の確保・育成とやりがいを持って働くことができる労働環境の整備を進めます			
①若年者等の就業支援と地域産業を支える人材の確保（社会減対策）	○県外就職者の多い学校における生徒、保護者、進路指導教員の県内就職への意識醸成が必要。 ○就職先の決定において重要視される「職場の雰囲気」など、求人票では分からない情報を得る機会の創出が必要。 ○離職率が全国平均を上回っている大卒新卒の早期離職の防止が必要。 ○保護者や進路指導教員等の県内企業や県内就業への理解促進が必要。 ○企業の採用充足率（採用予定者数に対する内定者の割合）の向上が必要。	1 地域産業を支える人材確保推進【広域振興事業】（経営企画部） ・ 高校生と企業の経営者や若手社員等との交流会（企業ガイダンスや講演会等）の開催 ・ ミスマッチ解消やU・Iターン就職促進に向けた大学生等と県内企業の経営者や若手社員、行政職員、U・Iターン就職者や起業家等との交流会（キャリア教育高大連携授業等）の開催 ・ 県内外大学生等向け県内就業・県内企業PR（学内の就職ガイダンス、成人式などの機会を活用し県内企業等の情報を提供し就活を支援） ・ 保護者や教員を対象とした企業見学や企業との交流会の実施 2 若年者の県内就業促進【地域経営推進費】（経営企画部） ・ キャリア教育高大連携授業や県内企業見学への高校生等の参加支援 ・ 企業ガイダンス等における企業のPR力、企業情報発信力の強化支援	
②企業における雇用・労働環境整備の促進（社会減対策）	○企業における待遇改善やワーク・ライフ・バランス等の浸透が雇用の確保に繋がるという意識醸成が必要。	1 働き方改革及びワーク・ライフ・バランス等の普及啓発 ・ 企業ガイダンス参加企業等に対する、いわて働き方改革推進運動への参加促進、助成制度等の周知 2 企業の採用力強化支援 ・ 企業の大卒者等若者人材確保を促進するための勉強会（定住推進・雇用労働室主催）等への参加促進 ・ 高校等を会場として実施する企業ガイダンスを他の企業が見学することにより企業のプレゼンススキル向上を図る機会や企業間交流の機会の創出	

## 資料3

## 令和6年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目(盛岡広域振興局)

地域振興プラン等	現状・課題	令和6年度の具体的な事業内容	備考
<b>11 産業活動を支える交通ネットワークを整えます</b>			
<b>①物流・交通ネットワークの整備</b>	○国道282号は東北自動車道の代替路となった際、幅員減少、線形不良につき通行に支障をきたすため、スタック発生の可能性があり、代替路としての機能確保が必要。	<b>1 県央圏域北部等の幹線道路整備（土木部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道282号（佐比内：八幡平市）：トンネル本体工推進</li> <li>・ 国道282号（一本木：滝沢市）：旧道移管に向けた旧道補修</li> </ul>	
<b>②医療機関への緊急搬送ルート</b> <b>の整備（安全・安心）</b>	○地域医療を支援し広域的な救急輸送を支えるため、道路ネットワークの強化が必要。	<b>2 医療機関への救急輸送ルートの整備保（土木部）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大ケ生徳田線（徳田橋：盛岡市・矢巾町）：市町要望を踏まえながら、事業化可能性を検討（再掲）</li> <li>・ 国道282号（佐比内：八幡平市）：トンネル本体工推進（再掲）</li> <li>・ 国道282号（一本木：滝沢市）：旧道移管に向けた旧道補修（再掲）</li> </ul>	